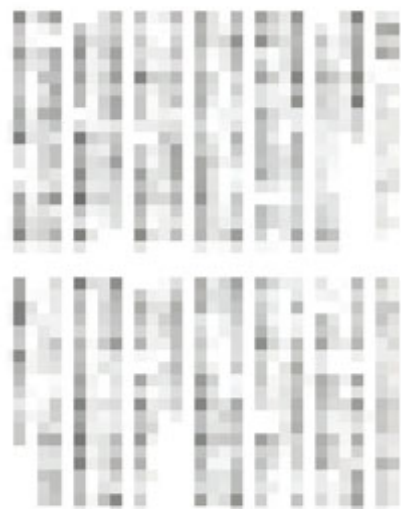




今月の話題満載！「フラッシュ・アイ」

消費者からのクレームを企業に代わって対応する「お客様窓口支援センター」(本社・埼玉県戸田市)が同社の創業者三浦敏彦相談役の故郷である岩見沢市に営業所を開設。多様化する消費者の苦情に苦慮する企業の間で大きな関心を集めている。

時代の新商法、お客様窓口支援センター 苦情を「手とり」を受け 企業と消費者の問題解決



三浦電太社長

「苦情・クレーム」の受付、処理、的確な対応を瞬時に行う「お客様窓口支援センター」の誕生は、「クレーム」の時代を反映した新商売といえそう。企業は消費者からの苦情にどう対応すればいいか、正直言って苦慮しているのが現実。しかし、その処理を譲れば、企業の存亡にも関わる大事に発展しかねない。それを「代行」しようというのが同社だ。

同社の創業者である三浦敏彦氏は関東周辺で読売新聞の販売店を手広く経営しているが、新たに時代のニーズに応えた「苦情処理会社」を設立したのも、設立は平成15年。現在社長は子息の三浦電太氏だが、父敏彦氏は岩見沢市の出身。そんな因縁もあって今年2月末、岩見沢市のビジネスセンタービル4階に営業所を開設したが、早くも多くの企業の関心を集めている。

Next generation
Comprehensive - information magazine

2008 June 6月 Vol.051

6月号

680円 (税込み)

今月の話題満載！「フラッシュ・アイ」

JR社長・中島尚俊に膨らむ期待

